

令和6年度事務事業評価シート

令和6年10月17日

事業番号	5107		担当課等		湯河原小学校					
事務事業名	学校支援ボランティア活用事業(湯河原小学校)									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	2	目	1	事業開始年度	

1 事業概要(令和5年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	②小学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	地域の方々に関わっていただき、地域との連携を図り、児童を育てる教育環境を推進する。								
対象	地域のボランティア								
内容	授業における教師のサポートや、学校図書館の蔵書整理などに地域のボランティアに携わっていただく。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和4年度(決算)		令和5年度(決算)		令和6年度(見込)	
	事業費		109,580		110,000	
コスト	人件費	常勤職員				
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	0	0	0	0
	総事業費		109,580	110,000	145,000	145,000
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		109,580	110,000	145,000	145,000
	財源合計		109,580	110,000	145,000	145,000
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0

3 令和5年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	学校の様々な場面において地域ボランティアに関わってもらうことで、学校環境の維持向上を図ることができる。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	学校の様々な場面において地域ボランティアに関わってもらうことで、学校環境の維持向上を図ることができる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	地域の方が多く学校現場に接してもらうことで、地域と学習の連携が図られるとともに、教育現場の透明性を図ることができる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	学校環境の維持向上及び透明性が確保されることで児童・生徒の学校生活の向上につながる。
令和5年度までの自己評価または改善点		新型コロナウイルス感染症の影響により縮小していた活動を再開することができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	事業の性格上、学校として行う必要があると考える。
令和6年度の見直し及び改善予定	感染対策に留意しながら、地域と連携を図っていく。	
令和7年度以降の方向性	今後も、学校運営の向上を図るよう取り組む。	

5 一次評価(令和7年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	学校環境の維持向上をボランティアの協力をいただき継続的に図る必要がある。
---------	----------	--------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	引き続き地域のご協力をいただきながら学校運営の向上を図る。
---------	----------	-------------------------------

令和6年度事務事業評価シート

令和6年10月17日

事業番号			担当課等		湯河原小学校					
事務事業名	感染症対策事業(湯河原小学校)									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	2	目	1	事業開始年度	令和2年度

1 事業概要(令和5年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑩教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	学校における新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全・安心な学校生活を推進する。								
対 象	湯河原小学校の児童及び教職員								
内 容	新型コロナウイルス感染症対策として保健衛生用品や備品を整備する。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和4年度(決算)		令和5年度(決算)		令和6年度(見込)	
	事業費		1,350,000		1,420,299		0	
	人件費	常勤職員						
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	0		0		0	
	総事業費		1,350,000		1,420,299		0	
財源内訳	国庫支出金		675,000		519,000		0	
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		675,000		901,299		0	
	財源合計		1,350,000		1,420,299		0	
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値	
					0	0	0	
					0	0	0	
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値	
					0	0	0	
					0	0	0	

3 令和5年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	児童及び教職員等の安全・安心の確保や支援であるため、行政が行います。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実することができた。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実し、児童が感染症対策等を習慣化することができた。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	消耗品が大多数を占めるので、定期的な整備が必要となります。
令和5年度までの自己評価または改善点		国庫補助制度を活用し、迅速に消毒液、網戸等の保健衛生用品や、備品を整備し、感染症対策を講じた学校運営を行うことができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理 導入の可能性	3	性質上、行政が実施する必要がある。
令和6年度の見直し 及び改善予定	令和5年度で新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る国庫補助金が終了となったため、令和6年度については計上しない。	
令和7年度以降の 方向性	今後、感染症対策が必要な場合は適宜各学校予算において対応する。	

5 一次評価(令和7年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	完了	新型コロナウイルス感染症は5類へ移行し、国庫補助対象となる事業が変更になったため。
---------	----	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	完了	一次評価と同様
---------	----	---------

令和6年度事務事業評価シート

令和6年10月17日

事業番号	5116		担当課等		湯河原小学校					
事務事業名	児童用机・椅子・教卓等整備事業(湯河原小学校)									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	2	目	1	事業開始年度	

1 事業概要(令和5年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑩教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	児童用机・椅子・教卓等の学校用品を更新し、児童が安全・安心して学習できる環境を整備する。								
対 象	湯河原小学校								
内 容	児童用机、椅子、教卓等の修繕及び更新。 学校用品は、机の天板を張り替える等修繕して使用しており、修繕不能となるものを更新している。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)		令和6年度(見込)		
	事業費		35,411	68,000		0		
	人件費	常勤職員						
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	0	0		0		
	総事業費		35,411	68,000		0		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		35,411	68,000		0		
	財源合計		35,411	68,000		0		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和4年度	令和5年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和4年度	令和5年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和5年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	児童が使用する机等の更新を図るため必要。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。
令和5年度までの自己評価または改善点		適宜更新することができている。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	備品等の修繕及び更新事業のため、行政として行う必要があると考える。
令和6年度の見直し及び改善予定	令和6年度経常費に移行し、事業のスリム化を図る。	
令和7年度以降の方向性	児童数の推移に注視し、適宜更新していく。	

5 一次評価(令和7年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(見直し)	学校管理事務経費に統合することで、事業のスリム化を図る。
---------	---------	------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(見直し)	学校管理事務経費に統合し、より柔軟な対応を図る。
---------	---------	--------------------------

令和6年度事務事業評価シート

令和6年10月17日

事業番号			担当課等		湯河原小学校					
事務事業名	図書等整備事業(湯河原小学校)									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	2	目	2	事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和5年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	②小学校教育の充実
関連する個別計画					
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー
				○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源
					15陸上資源
					16平和
					17実行手段
					該当なし
目 的	学校図書の充実や、多様化する学習内容へ対応していくための、教師の資質向上を図るもの。				
対 象	湯河原小学校児童及び教職員				
内 容	学校図書館における児童用図書、教師用指導書、教育振興教材備品を購入・整備するもの。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)		令和6年度(見込)		
	事業費		1,099,966	1,099,823		5,321,000		
	人件費	常勤職員						
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	0	0		0		
	総事業費		1,099,966	1,099,823		5,321,000		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		1,099,966	1,099,823		5,321,000		
	財源合計		1,099,966	1,099,823		5,321,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和4年度	令和5年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和4年度	令和5年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和5年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	文部科学省の学校図書館整備計画に基づき学校図書館の蔵書等の充実を図るもの。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。
令和5年度までの自己評価または改善点	令和2年度までの「図書整備事業」、「指導用図書等整備事業」及び「教育振興教材備品事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 また、学校において児童用図書等の整備を行った。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	学校図書館の蔵書整備等のため、行政として行う必要があると考える。
令和6年度の見直し及び改善予定	学校の要望を的確に把握し、過不足なく整備していく。	
令和7年度以降の方向性	整備すべき備品等については、今後とも継続して行う必要がある。	

5 一次評価(令和7年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	定期的な整備を要します。
---------	----------	--------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	引き続き計画的に整備をしていく。
---------	----------	------------------

令和6年度事務事業評価シート

令和6年10月17日

事業番号	12461	担当課等	湯河原小学校							
事務事業名	総合的学習等推進事業(湯河原小学校)									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	2	目	2	事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和5年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	②小学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	各学年の発達段階に応じた活動や調べ学習を行い、教科にとらわれない総合的な課題などについて学習を行います。また、全教職員が参画する校内事業研究会の開催等を推進しました。								
対象	湯河原小学校児童及び教職員								
内容	教職員の資質向上を図るもの。 町が推進する「花のまちづくり」に連動し、情操教育の推進を図る。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和4年度(決算)		令和5年度(決算)		令和6年度(見込)	
	事業費	236,937	236,547	237,000		
コスト	人件費					
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	236,937	236,547	237,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	236,937	236,547	237,000		
	財源合計	236,937	236,547	237,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0

3 令和5年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	総合的な学習内容の充実を図るため、学校において事業を実施する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	総合的な学習内容をより充実したものにできている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	総合的な学習内容をより充実したものにできている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	全児童を対象としているため公平性を保っている。
令和5年度までの自己評価または改善点	令和2年度までの「教育研究発表事業」、「花いっぱい教育推進事業」及び「総合的な学習推進事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 また、各学校において総合的な学習の推進を図ることができた。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	児童及び教職員が総合的な学習を推進するため。
令和6年度の見直し及び改善予定	今後も継続実施する。	
令和7年度以降の方向性	引き続き、各学年の発達段階に応じた学習内容を検討する。	

5 一次評価(令和7年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	継続して事業を実施することにより、児童の学習意欲の向上及び教職員の資質の向上を図る必要がある。
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	継続実施により質の高い教育を目指していく。
---------	----------	-----------------------

令和6年度事務事業評価シート

令和6年10月17日

事業番号	12462	担当課等	湯河原小学校							
事務事業名	外部教育力活用事業(湯河原小学校)									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	2	目	2	事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和5年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	②小学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	外部講師をお招きし講演会を開催することで、国際文化学習や心身の発達と個性の伸長を促し、学校教育活動の充実を図る。								
対象	湯河原小学校児童及び教職員								
内容	国際理解教育や卒業記念に係る講演会等を実施するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和4年度(決算)		令和5年度(決算)		令和6年度(見込)	
	事業費		事業費		事業費	
コスト	人件費		人件費		人件費	
	常勤職員		常勤職員		常勤職員	
	会計年度任用職員等		会計年度任用職員等		会計年度任用職員等	
	人件費合計	0	人件費合計	0	人件費合計	0
	総事業費	57,645	総事業費	58,000	総事業費	108,000
財源内訳	国庫支出金		国庫支出金		国庫支出金	
	県支出金		県支出金		県支出金	
	地方債		地方債		地方債	
	その他特定財源		その他特定財源		その他特定財源	
	一般財源	57,645	一般財源	58,000	一般財源	108,000
	財源合計	57,645	財源合計	58,000	財源合計	108,000
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和4年度	令和5年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0

3 令和5年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	国際文化学習等について、児童を対象に講演会を実施しているため。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	教科書では学ぶことのできない経験や知識を、外部講師から学ぶことができる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	講演会の開催により、児童の学習面において、より充実したものにできている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	特定の学年を対象としているため公平性を保っている。
令和5年度までの自己評価または改善点	令和2年度までの「国際理解教育推進事業」、「地域教育力活用事業」及び「卒業記念講演会開催事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。また、外部講師をお招きし講演会を開催し、学校教育活動の充実を図った。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	講演会を開催することで、児童及び教職員の教育活動の充実を図るため。
令和6年度の見直し及び改善予定	今後も継続実施する。	
令和7年度以降の方向性	引き続き、学校教育活動の充実を図る一助となるよう取り組む。	

5 一次評価(令和7年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	継続して事業を実施することにより、児童及び教職員の教育活動の充実を図る必要がある。
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(見直し)	より柔軟に対応できるよう、総合的学習等推進事業へ統合することを検討する。
---------	---------	--------------------------------------